



みはし

11月号 No. 7
令和7年10月31日
さいたま市立三橋小学校



さいたま市 PR キャラクター

〈11月の生活目標〉 本をたくさん読もう

本は心も頭も育ててくれます。読書離れが叫ばれる昨今、秋の夜長にスマホやTV・ゲームからそっと距離をとり、じっくり読書はいかがでしょう。

さいたま市スクールロイヤーによる授業

校長 梶山 崇

まもなく11月を迎えます。秋たけなわです。運動会の練習も最後の仕上げに入っています。このまま子どもたちを見守っていきます。

さて、9月25日（木）にさいたま市スクールロイヤーによる出前授業を6年生対象に体育館で行いました。この事業はさいたま市の学校にとって大人気で、なかなか調整がつかず、本校は6年生の児童に代表として授業を受けてもらいました。指導してくださったのは、さいたま市スクールロイヤーの弁護士の先生でした。最初に弁護士の仕事について紹介した後、順にお話を進めてくださいました。

最初はだれもがもっている人権について、次に運動会のクラス対抗リレーの選手決めで起こったいじめと思われる出来事について、その次にSNSでのいじめについて、最後に「ドラえもん」の登場人物を例に挙げ、いじめの四層構造を説明し、子どもたち一人ひとりができることについて話してくださいました。

進め方で印象的だったのは、「いじめか」、「いじめでないか」を考える事例について、まずは「自分で考え」、次に「友だちと意見交換し」、その次に「代表児童に考えを発表してもらう」、最後に弁護士の先生の話聞いて、「自分の考えを確認する」流れで進めていました。スクールロイヤーの先生は、話をするだけでなく、友だちと意見交換をする機会をもつなどの協働的な学びの視点を取り入れた授業の進め方をしてくださいました。

ロイヤーの先生は、「心のコップ」という目に見えないものを取り上げました。心のコップは人によって大きさや形が違い、ふだんはやさしさや喜びで満たされていくものですが、他人から悪口を言われるなどのいやなことがあると苦しみや悲しみをためてしまうと説明してくださいました。子どもたちには『「相手の心のコップの状態が今どのような状態か」を想像して相手の気持ちを考えながら学校生活を送ることが大切です。』と力強く話してくださいました。また、「ドラえもん」の登場人物を例に挙げ、クラスの一員として、いじめを止めることはもちろん大切なことですが、それがむずかしい場合は、先生に相談したり、いじめを受けていると思われる子を支えてあげたり、話を聞いたりするなど子どもたち一人ひとりができる対応についても話してくださいました。

11月の生活朝会ではロイヤーの先生にいただいた話について児童に話し、学校全体でいじめを防止できるようにしていきたいと思います。今月も本校の教育活動にご支援をお願いいたします。

★今月のみはしっ子★



（6年修学旅行 迫力の華厳の滝）

（5年調理実習 家でも作れるかな）



（2年町探検 付き添いに感謝です）

（運動会大玉送り練習）

《避難所運営訓練がありました》

いつくるか分からない災害に備え、地域の避難所となる本校の体育館で運営訓練がありました。地域の方々に集まり、防災倉庫の毛布や非常食を点検したり、避難者受入の方法を確認したりしました。



（↑ 災害時の食料 家庭でも用意しておきたいものです）

★お知らせとお願い★

《感染症の予防について》

各種感染症が流行しております。手洗い・うがい・規則正しい生活等の励行をお願いいたします。また、学級閉鎖等の対応を取らせていただく際には、お迎えや学童の調整などのご協力をいただくことがありますのでご承知おきください。

《放課後の帰宅時間について》

秋も深まり、日没も早まってきました。放課後の遊びや習い事など外出先から暗くなる前に安全に帰宅できるよう、ご家庭でも帰宅時間や安全な帰宅方法について話し合ってくださいようお願いします。

《登下校のマナーについて》

地域を通行する自転車や自動車のドライバーさんから児童の登下校の様子についてお困りの電話をいただくことがあり、全校に安全な登下校マナーについて指導をしたところです。ご家庭でも道路の通行マナーを話し合ってください、登下校を見守っていただくなどのご協力をいただけると幸いです。